

東北管内3事例の取材で見えた

就農を目指す地域おこし協力隊員の「定着」を後押しする3つの伴走ポイント



農業の担い手確保が急務となる今、地域おこし協力隊は将来の担い手候補として期待されています。東北農政局では、管内で取材した事例をもとに、定着につながる環境づくりの工夫として3つの伴走ポイントをまとめました。既に取り組みされている内容もあるかと思いますが、参考としてご覧いただけますと幸いです。



※3つの伴走ポイントは、市町村と関係者が連携しながら進めていただくことを想定した環境づくりの工夫の視点です。

※3つの伴走ポイントは、市町村と関係者が連携しながら進めていただくことを想定した環境づくりの工夫の視点です。

1 就農の最大ハードルは農地確保 —— 任期中に見通しを ——

- 隊員は、任期後ただちに要件を満たし就農することで、隊員の報酬から経営開始資金(令和8年度からは年間165万円)へとシームレスに移行できます。
- この収入の移行を途切れさせないよう、農業委員会や農地バンクと連携いただき、任期中に隊員が農地確保の見通しを立てられるよう、調整を進めていくことが大切です。

2 “人のつながり”が課題解決を加速 —— 接点づくりを積極的に ——

- 就農に向けては、農地のほか、農業機械、農機具庫付き住居の確保など、多様な課題が同時に発生します。
- 地域の様々な集まりへの参加機会を設けるなど、接点づくりを進めることで、隊員の相談相手が増え、課題解決が加速するケースも見られます。

3 希望の把握と実現が意欲維持の鍵 —— できる形で“実現策”の提示を ——

- 隊員は、複数の農家の下で技術を学んでみたい、遠方で開催される勉強会・研修会に参加してみたいなど、様々な希望・要望を持っています。
- 予算や制度の枠内で最大限実現する、難しい場合は実現可能な代替案を提示することで、就農・定着に向けた意欲の維持に、さらには向上につながるケースもあります。

※取材先でお聞きした元隊員のみなさんの声は裏面で紹介しています。

任期後に就農された元隊員のみなさんの声

岩手県遠野市(2025年10月取材)



さとみ かずひこ
里見 一彦さん
任期:2018~2021
現在はホップを栽培

就農に向けて農地探しをしていたところ、農家さんから「ホップ畑の空きがでそうなのでやってみないか」とのお話をいただきました。農地が見つからなければ転出も覚悟していたのでありがたかったです。ホップは、収穫、乾燥が共同作業なので、農家同士のつながりが強く、機械を貸していただけるし、私を気にして畑を見に来てくれたりもします。



なかやま ともたか
中山 友隆さん
任期:2018~2021
現在はホップと野菜を栽培

当初はホップ栽培を手掛ける法人で研修という形で活動をスタートしました。任期途中で、ホップ栽培の高い技術を持った農家さんの下で研修したい気持ちになり、市の担当者に伝えたところ、活動内容を変更いただきました。この農家さんの他にも、ピーマンの支柱を貸してくれた協力隊の先輩農家がいる、多くの支えのもとで農業経営ができています。

青森県板柳町(2025年12月取材)



うだかわ かずよし
宇田川ご夫妻 和義さん
任期:2022~2025
現在はりんごを栽培

活動前に町役場でタイムカードを打刻するのが日課で、顔を合わせる役場職員のみなさんと親しくさせていただきました。りんご栽培に不安を抱いていた頃、農家さんから「環境は毎年変わるので、りんご農家は毎年みんな一年生。いい加減にせず、まじめにやれば大丈夫」と励ましていただいたのが、気持ちをとて楽しんでくれました。



りえ
宇田川ご夫妻 理恵さん

私達が所属する産業振興課の方を含め多くの役場職員の方から声をかけていただき、プライベートでニンニクの収穫体験や懇親の場にも誘っていただきました。また、農家さんを通じて地元のりんご卸売市場の方と仲良くさせていただいたり、町が運営する「林檎まるかじり塾」にも参加させていただき、多くの若手農家の仲間ができました。

青森県鶴田町(2026年1月取材)



やまだ しゅん
山田ご夫妻 俊さん
任期:2018~2021
現在はぶどうを栽培

複数の農家さんの下での研修体験を経て、教え方が自分たちに合った津軽ぶどう協会の会長さんに指導役をお願いすることになりました。また、担当課*だけではなく全課で協力隊を支援するよう町長が役場内に指示されたこともあり、いまのぶどう畑は農業振興課から紹介いただくなど、役場の方には大変助けていただきました。

*同町の担当課は企画交流課



そのみ
山田ご夫妻 園実さん

意外と不動産屋さんに一軒家の賃貸情報がなく、住まい探しには就農後も苦労しましたが、道端で偶然声をかけていただいた床屋さんに情報をいただき、それが現在の住まいとなりました。ご縁に感謝です。また、任期中、気になっていた東京の研修会に参加でき、役場の方には希望を叶えていただき本当にありがとうございました。